



申4号 「中編成ワンマン運転拡大」に関する申し入れ 開催!④

6.走行訓練をしても不安を感じる組合員・社員がいる場合は、追加の訓練の実施や指導員の添乗を行うこと。

確認事項 組合員・社員と管理者がコミュニケーションを図り、不安なことを把握し、フォローを実施する。

組合：訓練の成果や今後のフォロー体制を明らかにすること。

会社：ワンマン運転による基本動作の習熟を行うことが出来た。走行訓練は現在も行っている。現段階で不安の声はないが、期間が開いている社員もいる。そのため予備日も設け、その都度対応する考えである。

組合：走行訓練をしても不安を感じる組合員・社員がいる場合は、追加の訓練等を行うこと。

会社：社員より何が不安なのかヒアリングをした上で、シミュレータや机上等でフォロー等を行う。管理者とのコミュニケーションが重要であると考え。ポイントは到着と発車の手順だと考え。

組合：管理者とのコミュニケーションは重要であると考え。今後も不安なく乗務できる体制を構築することを要請する。

7.中編成ワンマン運転拡大にあたり、組合員・社員の異動が行われる場合は、ジョブローテーションでの確認事項に基づき、本人希望を尊重すること。

確認事項 組合員・社員と管理者がコミュニケーションを図り、本人希望を把握する。

組合：ワンマン運転拡大に伴い、削減された車掌業務を担う組合員・社員の運用について明らかにすること。

会社：ヒトならではの仕事に従事していただきたい。異動については、自己申告書に基づき年1回の面談で把握する。それ以外にも管理者とのコミュニケーションを行う考えである。

組合：ジョブローテーションでの確認事項に基づき、本人希望を尊重すること。

会社：社員の状況は面談等で把握する。希望通りになれば理想だが、必ずしも希望通りにならない場合もある。

組合：管理者とのコミュニケーションが前提である。何でも話し合える風土を構築し、組合員・社員が納得感の持てる施策にすること。

会社：年1回の面談で把握するが、社員の家庭状況は変化すると予想する。変化を把握するためには管理者とのコミュニケーションは重要である。希望を把握し、任用の基準に則り取り扱う考えである。

安全で安心して働ける職場を実現するため、今後検証運動を行おう!